

# あいさつ



愛西市議会議長  
鷲野 聡 明

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様方におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。年頭にあたり、市議会を代表して謹んでご挨拶を申し上げます。また、日頃から議会運営に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年開催された平昌オリンピックでは、日本選手の活躍に多くの感動と希望を与えられ、日本中が大いに沸いた年でありました。一方で、大阪北部地震、西日本豪雨、夏の猛暑など、全国各地で大規模な災害が発生し、多くの尊い人命と財産が奪われました。改めて、災害に対する備えの重要性を再認識し、議会としても災害時における対応を検討していかねばならないと痛感しております。さて、愛西市では昨年5月から議員定数が18となり、新たな市議会がスタートしております。我々は、与えられた使命をこれからも



愛西市長  
日永 貴 章

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、平成31年の初春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、市政に対し格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、自然の脅威に心を痛めるニュースが多くあった一方、冬季オリンピックを始めとしたスポーツの分野での活躍やノーベル賞受賞など明るい話題も多くあり、日本人のひたむきな努力と未来に向けた可能性に希望の光を感じる年でもありました。本市におきましては、昨年4月、皆様と共に策定した第2次愛西市総合計画がスタートしました。この総合計画を私たち世代と未来を担う次世代をつなぐための羅針盤として一歩一歩確実に歩みを進めることで、持続可能な市政運営に努めてまいります。そして、市民活動を支援し、共に創り上げる市

民協働のまちを進めるため、新たな施策を展開しています。地域では、従来の活動の他に、新たに趣向を凝らした自主的な活動も生まれ、広がりつつあります。市民の皆様は活動それぞれが、活気みなぎる本市を創り上げ、支える原動力となることを確信しております。人口減少が本市のみならず、日本の大きな課題となっている今、これまで以上に「ひと」の力が重要です。私たち世代が今と未来を結ぶためにすべきこと、「ひと・自然・愛があふれるまち」の実現に向け、人のつながり、情愛、叡智を結集することが必要です。職員も一丸となって、様々な課題解決のために市民の皆様と手を携え、共に考え、取り組んでまいります。本年も、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新しい年となりますよう心から祈念致します。本年もよろしくお願いいたします。

十分認識するとともに、市民の皆様のご意見が市政に反映されるよう自己研鑽に努め、効率のよい行政を念頭に、市執行部と知恵を出し合いながら「市民参加」の市政運営に努力していく所存です。また、市民の皆様は、より身近で開かれた議会となるよう、さらなる改革に努めてまいります。愛西市が発展を続け、「住んでよかった」と実感できるまちづくりには、議員一同取り組んでいく所存ですので、今後とも皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、市民の皆様方にとりまして、本年が実り多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。